

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0296

(注)本稿は2014年1月21日から31日まで5回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.2.3

前田 高行

MENA(中東・北アフリカ)諸国の経済自由度(2014年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その7)

目次	頁
1. 「The 2014 Index of Economic Freedom World Rankings」について	2
2. MENAトップのバハレーンは米国に次ぐ世界13位、日本よりも高い評価	2
3. 分野(Pillar)別の順位	3
4. 主要国の世界順位の変遷(2011~2014年)	5
5. サウジアラビア、UAE、バハレーン、トルコ、エジプト5カ国と日米中の比較	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですがその他の多くはスンニ派の政権国家です(*)。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

(*)シリアのアサド政権はシーア派の分派のアラウィー派であるが、同派は一部で異端とみなさ

れており、またアサド政権自体は宗教色の薄い世俗的軍事政権である。しかし最近ではレバノンのイスラム過激派ヒズボラー(神の党)をシーア派イランと共に支援し、或いはスンニ派が多数を占める反政府勢力と対抗する図式が明確になってきた。このため国際世論ではアサド政権をシーア派とみなす論調が強くなりつつある。

第7回の MENA ランキングは、米国のヘリテージ財団とウォール・ストリート・ジャーナルが共同で発表した「The 2014 Index of Economic Freedom World Rankings」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ: <http://www.heritage.org/index/>

1. 「The 2014 Index of Economic Freedom World Rankings」について

「Index of Economic Freedom」(以下経済自由度)は、ワシントンに本部がある米国の保守系シンクタンクのヘリテージ財団(Heritage Foundation)が The Wall Street Journal と共同で毎年公表しており、2014年レポートでは世界178カ国がランク付けの対象となっている。そのうち MENA はシリア、リビア、イラク及びパレスチナ自治政府を除く16カ国が評価対象となっている(なおシリア、リビア及びイラクはいくつかの個別分野(Pillar, 下記参照)で評価付けされているが、総合的なランクはない)。

Index は Pillar と呼ばれる以下の10の分野について各国の自由度に応じた点数評価とランク付けがされ、またそれらを総合したランク付けが行われている。

10の Pillar(分野)

- (1) Property Rights
- (2) Freedom from Corruption
- (3) Fiscal Freedom
- (4) Government Spending
- (5) Business Freedom
- (6) Labor Freedom
- (7) Monetary Freedom
- (8) Trade Freedom
- (9) Investment Freedom
- (10) Financial Freedom

2. MENAトップのバハレーンは米国に次ぐ世界13位、日本よりも高い評価 (末尾表 7-T01 参照)

総合評価で MENA 16ヶ国のトップはバハレーンで世界順位は13位である。これは12位の米国に次ぎ、25位の日本よりはかなり高い。バハレーンに次ぐ MENA 2位は UAE であり世界順位はバハレーンよりかなり離れた28位となっている。MENA 3位以下はカタール(世界30位)、ヨルダン(同39位)、イスラエル(同44位)及びオマーン(同48位)までが世界50位以内である。これら6カ国に続

くトルコ(世界64位)、クウェイト(同76位)、サウジアラビア(同77位)が全世界178カ国の中の上位グループとなる。

MENA11位以下の国とその世界順位は以下のとおりである。

レバノン(世界96位)、モロッコ(世界103位)、チュニジア(世界109位)、イエメン(世界123位)、エジプト(世界135位)、アルジェリア(世界146位)、イラン(世界173位)でありイランの経済自由度は世界最低レベルと評価されている。因みに MENA16カ国の平均世界順位は82位でありほぼ世界の中間レベルにある。

3. 分野(Pillar)別の順位 (末尾表 7-T02 参照)

経済の自由度を構成する10のPillar(上記1参照)について、MENA 諸国の概要を見ると以下の通りである。

(1) Property Rights(MENA 平均ポイント:40. 0)

Property Right(工業所有権保護)が MENA で最も高いのはイスラエルでポイントは75. 0である。ついでポイントが高いのはカタール(70. 0)でさらにバハレーン及びヨルダンがポイント60. 0で並んでいる。MENA の平均ポイントは40. 0であるが、これを下回っているのはアルジェリア、イエメン(30. 0)、エジプト、レバノン(20. 0)でイラン、リビア、シリアは10. 0にとどまっている。

(参考:日本80. 0、米国80. 0、中国20. 0)

(2) Freedom from Corruption(MENA 平均ポイント:38. 2)

汚職の少なさ、透明度はカタールがポイント72. 4でMENAトップである。このポイントは日本(77. 8)より低い米国(72. 0)よりわずかに高い。カタールに次ぐのは UAE66. 4、イスラエル59. 3であり、バハレーン(49. 4)、オマーン(48. 2)、ヨルダン(45. 6)、トルコ(44. 0)、サウジアラビア及びクウェイト(43. 7)と続いている。

一方 MENA の中で汚職の度合いが高いとされているのはイラク、リビア、イエメンなどでそれぞれのポイントは13. 7、18. 3、19. 4である。MENA 諸国の中では GCC 或いはヨルダンのような君主制国家の汚職度が低い一方、汚職度の高い国(イラク、リビア、イエメンなど)は共和制であり、強権的な独裁制が倒れた後も透明度は低いままである。

(参考:日本77. 8、米国72. 0、中国35. 0)

(3) Fiscal Freedom(MENA 平均ポイント:88. 5)

MENA はこの分野では世界のトップレベルの国が多い。特に GCC の6カ国はバハレーン、カタールが99. 9、さらにサウジアラビア(99. 7)、UAE(99. 6)、オマーン(98. 5)、クウェイト(97. 7)に見られる通り GCC6カ国はいずれもほぼ満点に近く、総合世界1位である香港のこの分野のポイント(93. 0)を上回っている。また MENA で二番目に低いモロッコのポイント71. 3は米国(65. 8)或いは日本(69. 2)よりも高い。因みに MENA で最もポイントが低い国はイスラエルの60. 1である。MENA17カ国の平均ポイントは88. 5であり MENA は世界的に非常に高いレベルにある。

(参考:日本69. 2、米国65. 8、中国69. 9)

(4) Government Spending(MENA 平均ポイント:60. 9)

この分野の MENA トップはイラン(ポイント:85. 9)であり、これに続くのが UAE(83. 1)、イエメン(同74. 9)、レバノン(73. 7)、カタール(72. 1)、バハレーン(71. 4)、エジプト(69. 6)である。一方この分野の評価が低いのはイスラエル、イラク(40. 3)、アルジェリア(51. 0)、クウェイト(55. 6)などであるが、他の項目に比べてポイントの高低差は比較的小さい。

(参考:日本47. 1、米国48. 1、中国82. 9)

(5) Business Freedom(MENA 平均ポイント:65. 7)

この分野ではチュニジアがポイント80. 7で MENA では最も高い。その他バハレーン(76. 3)、モロッコ(76. 2)、UAE(74. 4)などが高い。MENA 平均は65. 7と、中国(49. 7)を上回っている。この項目のポイントが低い国はリビア(50. 1)、レバノン(55. 6)である。

(参考:日本80. 0、米国89. 2、中国49. 7)

(6) Labor Freedom(MENA 平均ポイント:63. 4)

労働の自由度が MENA で最も高いのは UAE で同国のポイントは82. 9であるが、これは日本(79. 8)よりも高い。バハレーン(82. 0)がこれに続きリビア(77. 9)、サウジアラビア(75. 8)、オマーン(75. 5)、イラク(73. 4)、ヨルダン(72. 9)、チュニジア(72. 6)、カタール(70. 0)など多くの国が70台で並んでいる。一方、ポイントが低いのはモロッコ(31. 5)であるが、同国は直近のイラン(41. 7)に比べポイントの低さが際立っている。

(参考:日本79. 8、米国97. 2、中国61. 9)

(7) Monetary Freedom(MENA 平均ポイント:72. 0)

MENA18カ国の中で金融の自由度が最も高いのは UAE(ポイント84. 6)であり、これに次ぐのがヨルダン(同81. 3)、カタール(81. 2)、イスラエル(80. 6)、バハレーン(78. 4)である。この項目は MENA 諸国の格差は比較的小さくポイントが最も低いイランは47. 3であり、エジプト(60. 5)、イエメン(62. 1)となっている。

(参考:日本87. 5、米国75. 4、中国73. 3)

(8) Trade Freedom(MENA 平均ポイント:73. 1)

貿易の自由度が MENA で高いのはトルコ(84. 5)、イスラエル(82. 9)、UAE(82. 5)の各国であり、これは米国(86. 8)より低いものの日本(82. 4)を上回っている。GCC 産油国のうち UAE 以外はカタール(79. 8)、オマーン(78. 7)、バハレーン(78. 6)、クウェイト(76. 7)、サウジアラビア(74. 0)と UAE より若干低い、いずれも MENA 平均(73. 1)は上回っている。ポイントが MENA で低いのはイラン(41. 4)のほかモロッコ(58. 8)、アルジェリア(60. 8)、チュニジア(61. 8)の北アフリカ・マグレブ諸国である。

(参考:日本82. 4、米国86. 8、中国71. 8)

(9) Investment Freedom (MENA 平均ポイント: 46.9)

MENA18カ国のうち投資の自由度が最も高い国はイスラエル(80.0)である。同国に次ぐのがバハレーン(75.0)、トルコ、モロッコ・ヨルダン(各70.0)である。これらの国に比べ投資の自由度が低いとされているのはイラン、リビア、シリアの国々であり、イラン及びシリアはポイント0.0、リビアは5.0と極端に低い。イランは欧米諸国による厳しい投資制限下にあり、またシリアは激しい内戦状態にあるため投資意欲が大きく削がれている。この項目は他の項目に比べてポイントの格差が大きい。なお外国企業が多数進出しているドバイを有する UAE のポイントは MENA の平均(46.9)を下回る35.0であり、GCC6 カ国の中では最も評価が低い。

(参考: 日本70.0、米国70.0、中国30.0)

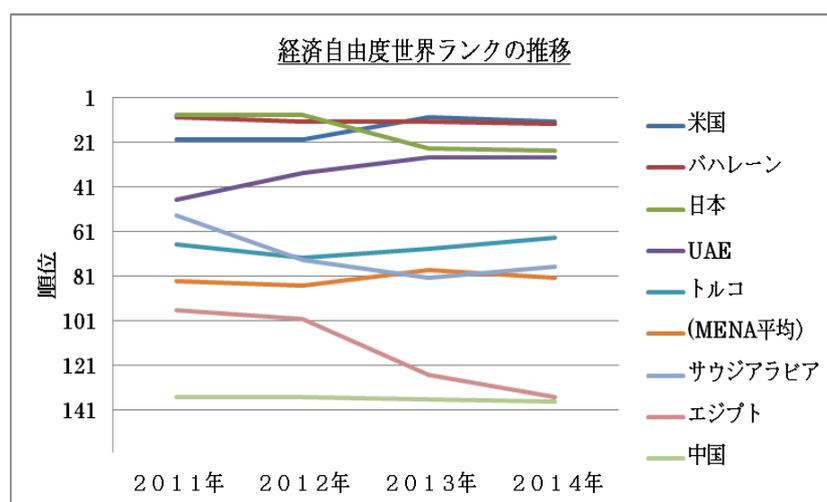
(10) Financial Freedom (MENA 平均ポイント: 46.1)

金融の自由度が MENA で最も高いのはバハレーン(80.0)であり、同国のポイントは米国(70.0)を上回っている。バハレーンに次ぐ MENA2位はイスラエル(70.0)であり、ヨルダン、レバノン、モロッコ、オマーン、トルコの5カ国がポイント60.0で並んでいる。さらにクウェイト、カタール、サウジアラビア、UAE の湾岸産油国が共に50.0であり、これは日本とおなじポイントである。一方、金融の自由度が低いと評価されているのは、イラン(10.0)、リビア・シリア(各20.0)の各国である。

(参考: 日本50.0、米国70.0、中国30.0)

4. 主要国の世界順位の変遷(2011~2014年)

ここではバハレーン、UAE、トルコ、サウジアラビア、エジプトの5カ国の過去4年間(2011年~2014年)の世界順位の変遷を取り上げ、参考として MENA 平均順位及び米国、日本、中国と比較してみる。



バハレーンの2011年の順位は世界10位であり、2012年及び2013年12位、2014年は世界13位と安定して高い順位を維持している。同国は4年連続で MENA のトップである。MENA2位の UAE は過去4年間に世界47位→35位→28位→28位と順位をあげ日本に肉薄しているもののバハレーンとの格差はまだ大きい。

バハレーンと日本或いは米国を比較すると2011年、12年は日本が世界9位でバハレーンを上回っていたが、2013年、14年に日本は24位、25位へ急落している。また米国は2011年、12年は20位でありバハレーンより低かったが、最近2年間は10位、12位とバハレーンをしのいでいる。日本と米国に比べバハレーンが安定して10位前後を維持していることは特筆に値す

る。

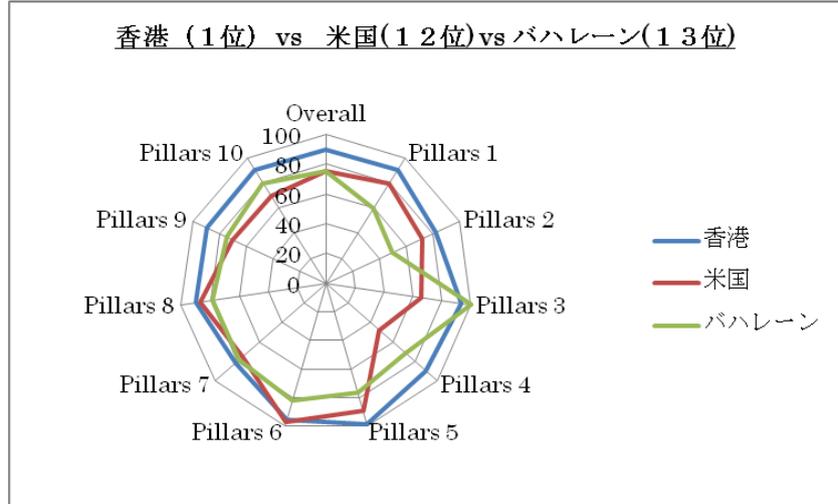
毎年順位を上げている UAE と対照的なのがサウジアラビアである。同国は2011年に UAE をわずかに下回る54位であったが、その後74位→82位と3年連続で順位を落としている。2014年は77位と少し持ち直しているが、MENA の平均順位(83位→85位→78位→82位)と比べると、2011年には MENA 平均よりかなり上位にいたが、最近ではほぼ MENA の平均にとどまっている。トルコ(67位→73位→69位→64位)はアラブの春の影響を受けて2012年にはランクが下落したが、その後2年間は経済自由度の世界ランクが着実に上昇しサウジアラビアをしのいでいる。

これに対してエジプトは2011年には96位であり中位よりやや下のクラスであったが2012年100位、2013年125位、2014年135位に急落し、過去5年間130位台を続ける中国(135位→135位→136位→137位)に近いランクまで下がっている。

5. サウジアラビア、UAE、バハレーン、トルコ、エジプト5カ国と日米中の比較(レーダーチャート)

2014年版で評価対象となった MENA 諸国のうちバハレーン(世界13位)、UAE(同28位)、トルコ(同64位)、サウジアラビア(77位)及びエジプト(同135位)の5カ国を取り上げ、それぞれの分野別ポイントをレーダーチャートで表してみる。ここでは5カ国を香港(世界1位)、米国(同12位)、日本(同25位)、中国(同137位)の4カ国を加え以下の4つのグループに分けて比較検証を行った。なおレーダーチャートは最も外側がポイント100(満点)であり内側中心のポイントは0.0である。そして最上段の Overall が総合ポイントであり、Pillar 1から Pillar 10までは第1項に述べた分野を示している。グラフの実線は外側に広がるほどポイントが高いことを、また真円に近いほど分野のバランスが取れていることを示している。

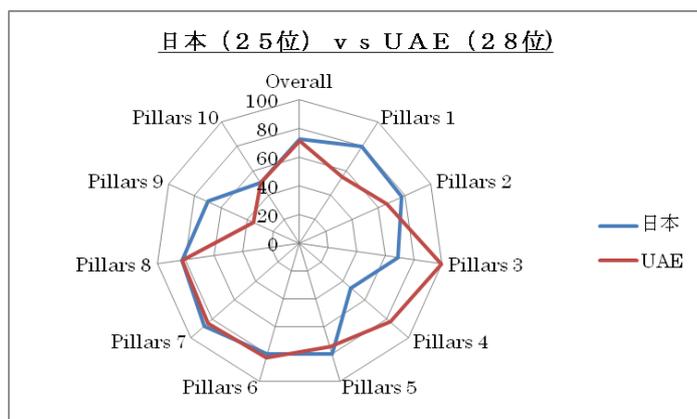
(1) チャート1(トップグループ): 香港、米国、バハレーン



総合世界1位の香港は10項目のいずれも80ポイント以上であり経済の自由度が高い。これに対して米国は Fiscal Freedom(Pillar 3) や Financial Freedom(Pillar 10) が他の2カ国に比べて低く、特に Government Spending(Pillar 4)のポイントが目立って低い。米国は伝統的に民間主導型であるの

に対して香港、バハレーンは政府主導型のためであろう。バハレーンは総合世界13位であり米国の12位とほとんど変わらないが、分野別に見ると Property Rights(Pillar 1)、Freedom from Corruption (Pillar 2)のポイントが香港、米国に比べてかなり低い。その一方 Fiscal Freedom(Pillar 3)は他の2カ国を上回りほぼ満点である。

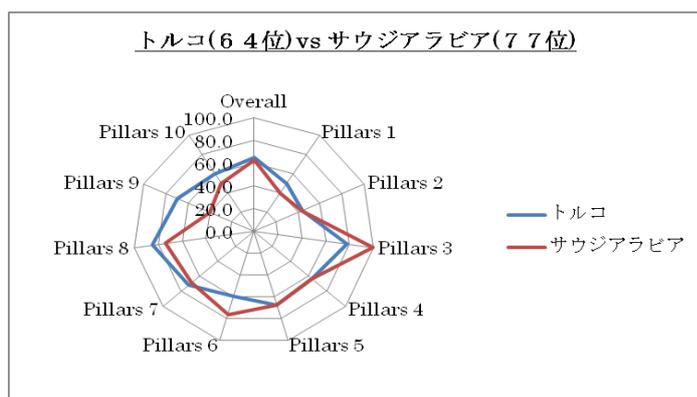
(2) チャート2(上位グループ): 日本、UAE



世界順位25位の日本と同28位のUAEを比較すると、Labor Freedom(Pillar 6)、Monetary Freedom(Pillar 7)及びTrade Freedom(Pillar 8)の3項目のポイントは両国ほぼ同じである。しかし日本はProperty Rights(Pillar 1)及びInvestment Freedom(Pillar 9)の2分野ではUAEを大きく上回っているが、反面Fiscal Freedom(Pillar 3)及びGovernment Spending(Pillar 4)の分野は

UAEが日本より上位である。

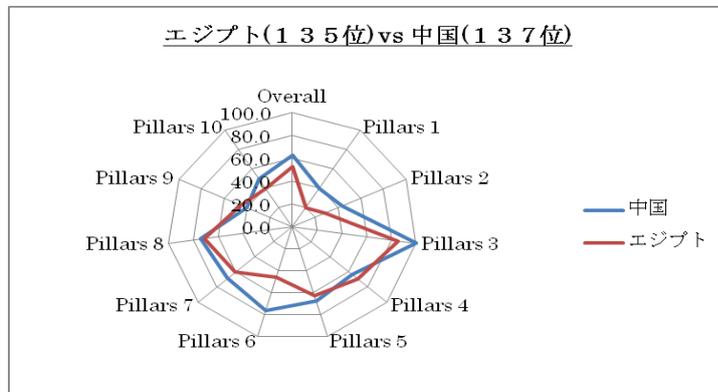
(3) チャート3(中位グループ): トルコ、サウジアラビア



総合順位が64位と77位で世界の中上位クラスにいるトルコとサウジアラビアのうちトルコは各分野のポイントが比較的均等化しているが、サウジアラビアは分野間の格差が大きい。サウジアラビアの場合Fiscal Freedom(Pillar 3)のポイントが99.7と突出して高く、香港、米国、日本を上回っている(因みにこの分野はバハレーン、UAEなどGCC諸国がいずれも極めて高いのが特徴である)。

その一方Property Rights(Pillar 1)、Freedom from Corruption(Pillar 2)、Investment Freedom(Pillar 9)などのポイントが低い。

(4) チャート4(下位グループ): エジプト、中国



エジプト(世界135位)と中国(同137位)は共に経済自由度の世界ランクが低い。分野別のポイントで両国の格差が大きい分野はProperty Rights(Pillar 1)(エジプト20.0、中国40.0)、Fiscal Freedom(Pillar 3)(エジプト85.6、中国99.7)、Labor Freedom(Pillar 6)(エジプト45.7、中国75.8)などである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界経済自由度ランク(2014年)(対象国数:178カ国)

国名	世界ランク	MENA ランク	スコア	前年ランク	前年スコア
バハレーン	13	1	75.1	12	75.5
UAE	28	2	71.4	28	71.1
カタール	30	3	71.2	27	71.3
ヨルダン	39	4	69.2	33	70.4
イスラエル	44	5	68.4	51	66.9
オマーン	48	6	67.4	45	68.1
トルコ	64	7	64.9	69	62.9
クウェイト	76	8	62.3	66	63.1
サウジアラビア	77	9	62.2	82	60.6
レバノン	96	10	59.4	91	59.5
モロッコ	103	11	58.3	90	59.6
チュニジア	109	12	57.3	107	57.0
イエメン	123	13	55.5	113	55.9
エジプト	135	14	52.9	125	54.8
アルジェリア	146	15	50.8	145	49.6
イラン	173	16	40.3	168	43.2
イラク	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
リビア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
シリア	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
(MENA 平均)	82		61.7	78	61.8
世界1位(香港)	1		90.1	1	89.3
米国	12		75.5	10	76.0
日本	25		72.4	24	71.8
中国	137		52.5	136	51.9
世界最下位(北朝鮮)	178		1.0	177	1.5

Source:ヘリテージ財団(Heritage Foundation) <http://www.heritage.org/index/>

世界経済自由度ランク項目別(2014年)(対象国数:178カ国)

国名	World Rank	0	1	2	3	4
		Score	Property Rights	Freedom from Corruption	Fiscal Freedom	Gov't Spending
アルジェリア	146	50.8	30.0	28.7	80.5	51.0
バハレーン	13	75.1	60.0	49.4	99.9	71.4
エジプト	135	52.9	20.0	28.6	85.6	69.6
イラン	173	40.3	10.0	23.4	80.6	85.9
イラク	N/A	N/A	N/A	13.7	95.5	40.3
イスラエル	44	68.4	75.0	59.3	60.1	40.3
ヨルダン	39	69.2	60.0	45.6	94.0	66.9
クウェイト	76	62.3	50.0	43.7	97.7	55.6
レバノン	96	59.4	20.0	24.5	90.9	73.7
リビア	N/A	N/A	10.0	18.3	95.0	0.0
モロッコ	103	58.3	40.0	33.3	71.3	64.1
オマーン	48	67.4	50.0	48.2	98.5	56.0
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	30	71.2	70.0	72.4	99.9	72.1
サウジアラビア	77	62.2	40.0	43.7	99.7	63.1
シリア	N/A	N/A	10.0	23.3	N/A	N/A
チュニジア	109	57.3	40.0	39.2	74.3	63.8
トルコ	64	64.9	50.0	44.0	77.5	63.5
UAE	28	71.4	55.0	66.4	99.6	83.1
イエメン	123	55.5	30.0	19.4	91.7	74.9
(MENA 平均)	82	61.7	40.0	38.2	88.5	60.9
世界1位(香港)	1	90.1	90.0	82.3	93.0	89.7
米国	12	75.5	80.0	72.0	65.8	48.1
日本	25	72.4	80.0	77.8	69.2	47.1
中国	137	52.5	20.0	35.0	69.9	82.9
世界最下位(北朝鮮)	178	1.0	5.0	5.0	0.0	0.0

Source:ヘリテージ財団(Heritage Foundation) <http://www.heritage.org/index/>

(表 7-T02 続き)

国名	5	6	7	8	9	10
	Business Freedom	Labor Freedom	Monetary Freedom	Trade Freedom	Investment Freedom	Financial Freedom
アルジェリア	66.3	48.3	67.8	60.8	45.0	30.0
バハレーン	76.3	82.0	78.4	78.6	75.0	80.0
エジプト	62.7	45.7	60.5	71.4	45.0	40.0
イラン	62.3	41.7	47.3	41.4	0.0	10.0
イラク	56.9	73.4	70.0	N/A	N/A	N/A
イスラエル	73.2	63.0	80.6	82.9	80.0	70.0
ヨルダン	62.0	72.9	81.3	79.6	70.0	60.0
クウェイト	57.7	63.6	73.2	76.7	55.0	50.0
レバノン	55.6	58.7	74.5	75.8	60.0	60.0
リビア	50.1	77.9	66.9	N/A	5.0	20.0
モロッコ	76.2	31.5	78.1	58.8	70.0	60.0
オマーン	68.3	75.5	73.6	78.7	65.0	60.0
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	71.7	70.0	81.2	79.8	45.0	50.0
サウジアラビア	67.3	75.8	68.7	74.0	40.0	50.0
シリア	60.4	55.1	N/A	N/A	0.0	20.0
チュニジア	80.7	72.6	75.9	61.8	35.0	30.0
トルコ	67.6	59.7	71.8	84.5	70.0	60.0
UAE	74.4	82.9	84.6	82.5	35.0	50.0
イエメン	59.2	54.9	62.1	82.4	50.0	30.0
(MENA 平均)	65.7	63.4	72.0	73.1	46.9	46.1
世界 1 位(香港)	98.9	95.5	82.0	90.0	90.0	90.0
米国	89.2	97.2	75.4	86.8	70.0	70.0
日本	80.0	79.8	87.5	82.4	70.0	50.0
中国	49.7	61.9	73.3	71.8	30.0	30.0
世界最下位(北朝鮮)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0